

桜木東だより

校訓
夢をもち
よく学び
よく遊び
よく鍛えよ

桜木東小 学校便り No.17
発行日 令和6年10月10日
校長 片山 明光

校舎工事が着々と!

前号でもお知らせしましたが、校舎と体育館の補修工事が着々と進んでいます。体育館は先週から足場が組み、あっという間にシートに覆われ外からはその様子が分からなくなりました。また、校舎の東側（給食室側）と南側も写真のように足場が組み、残すは西側（正門側）のみになっています。この後、体育館と同じようにシートがかけられますので、教室が少し暗くなるかもしれません。また校舎の壁には赤や緑のスプレーで線が引かれ始めました。業者の方に聞いてみると、これが校舎の壁に入っている「ひび」でスプレーの色の違いは補修方法の違いだそうです。校舎全体の「ひび」を確認して、それを一つ一つ補修していくことになるそうです。それにしてもスプレーで描かれたあとをみると、こんなにも校舎にひびが入っていたのかと、改めてびっくりしました。

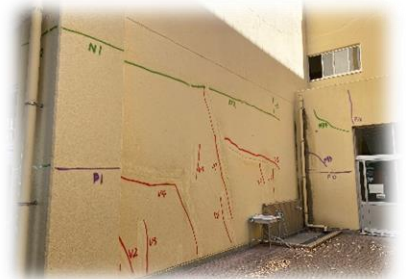
また、足場が立ってくるにつれて駐車場のスペースが減り、工事車両も入ってくることも多くなってきました。そのため午後から夕方にかけて裏門付近が育成クラブの支援員の方の車、放課後デイサービスの方の車、育成クラブのお迎えの車などで混雑するようになりました。そこで正門から入った場所を職員と工事車両の駐車場とし、児童の動線と重ならないようにコーンとポールを使って分けています。児童は登下校の際や運動場に出るときにはコーンよりも校舎側（レンガ敷きの部分）を通るようになります。多少不便になりますが、ご理解よろしくお願ひします。



体育館、建物は全く見えません



校舎周りの足場。要塞のよう



いたるところにスプレーで線が...



昇降口の前の歩車分離のためのコーン

いざというときのために「不審者対応訓練」



さすまたを使い3人以上で抑えようと不審者役の職員は動くことができません

1学期に熊本市の小学校から上履きを盗んだとして男性が逮捕されたという事件もありましたが、学校内に関係のない人物が入ってきたときの対応として、職員の「不審者対応訓練」を行いました。熊本東警察署から2人のスクールサポーターの方に来ていただき、訓練の様子を見ていただきました。不審者役の職員が敷地内に入ってくると、気づいた職員が声をかけ、不審者と判断したら職員室に知らせます。職員室から各教室に連絡し、教室は内側から鍵をかけ不審者が入ってこないようにします。学校から警察に電話連絡をし、警官が来られるまで時間を稼ぎます。職員は「さすまた」をもって準備をし、不審者が刃物を出すなど危険と判断したら一斉に取り押さえます。不審

者役の職員の迫真の演技により他の職員にも緊張が走りました。スクールサポーターの方から「殺虫剤や1mものさしなども役に立つ」「警察が3～5分で到着するのでできるだけ早く通報すること」などの助言もいただきました。「安心・安全な学校」を目指し、今後も訓練を続けていきます。